

令和

6

年度 第

1 学年

国語科

年間指導計画

●黄色いセルに入力可能です

●

はブルダウンバーから選択します。

作成担当者名

教諭

五十嵐 裕貴

使用教科図書 (学校教育法附則第9条 の規定による)		くらしに役立つ国語		使用 副教材		自作教材・教具	
目標 ・社会生活に必要な国語の基礎的な知識・技能を身に付けることができる。【知識・技能】 ・様々な形で伝え合う学習をとおして、より良いコミュニケーションの方法を工夫することができる。【思考・判断・表現】 ・言語活動をとおして言葉の持つよさや言語感覚を認識し、主体的に学びを進めることができる。【態度】							
月	単元題材	指導 期間	単元 担当	目標		主な学習内容	指導内容表
4	オリエンテーション	4/15 ～ 4/24 (全2 回)	五十 嵐 村瀬 後藤	技 能 識	・学習の見通しをもつことができる。	・プレテスト ・学習の見通し	【第一段階】 知識・技能：A1-2, 3
			思 判 表		・適切な挨拶の仕方を工夫することができる。	・自己紹介や挨拶の仕方（教科書P100）	
			態 度		・国語の学習に対する意欲をもつことができる。		
5 ・ 6 ・ 7	コミュニケーション のいろいろ	5/7～ 7/26	五十 嵐 村瀬 後藤	技 能 識	・伝え合うことの大切さや様々な方法を理解することができる。	・原稿用紙の使い方と作文の基礎、作文（体育祭の振り返り）	【第一段階】 知識・技能：A1-2, 3, 6, 8, 9, 10, 14, 16
			思 判 表		・思いを伝えるための方法を工夫することができる。	・読む・書く・聞く・話すことの基礎（プレテストの結果を受けて学習集団の実態に応じた基礎的内容を学習）	聞く・話す：B1-1, 2, 3, 4, 5 書く：C1-1, 2, 3, 4, 5 読む：D1-1, 2, 3, 4, 5
			態 度		・伝えることや伝わることの喜びを味わい、自ら活動することができる。	・場に応じた挨拶。 ・受け答えの仕方。 ・一学期の復習、理解度チェック	【第二段階】 知識・技能：A2-7, 15, 17
8 ・ 9	敬語の使い方	8/26～ 9/30	五十 嵐 村瀬 後藤	技 能 識	・日常で活用する敬語、言葉遣いについて理解することができる。	・丁寧な言葉遣い（敬語の基礎）	【第一段階】 知識・技能：A1-2, 3, 7, 8, 9, 10, 14, 15
			思 判 表		・状況に応じた話し方で表現することができる。	・インタビューの仕方（社会見学に向けて、教科書p42）	聞く・話す：B1-1, 2, 3, 4, 5 書く：C1-1, 2, 3, 4, 5
			態 度		・相手と自分の関係性を理解して、適切な表現にしようすることができる。		【第二段階】 知識・技能：A2-7, 15, 16
10 ・ 11	文章や資料の読み取り	10/1～ 11/15	五十 嵐 村瀬 後藤	技 能 識	・文章の構成や大まかな内容を理解して読むことができる。	・文章題	【第一段階】 知識・技能：A1-2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 14
			思 判 表		・文章から必要な情報を選択し、自分の方法で表現することができる。	・説明書から必要な情報を読み取ろう ・2学期の復習、理解度チェック	聞く・話す：B1-2, 3, 4, 5 書く：C1-1, 2, 3, 4, 5 読む：D1-1, 2, 3, 4, 5
			態 度		・文章を読むことに自ら取り組み、情報を適切に入手しようとする態度を養うことができる。		【第二段階】 知識・技能：A2-3, 5, 6, 7, 9, 10, 11
12 ・ 1	要点をまとめて書く・話す	12/26 ～ 1/30	五十 嵐 村瀬 後藤	技 能 識	・要点の絞り方や、より伝わりやすい表現方法を理解することができる。	・作文（学校祭の振り返り）	【第一段階】 知識・技能：A1-2, 6, 7, 8, 9, 10, 12, 14, 15, 16
			思 判 表		・自分の意見や気持ちが伝わるように、言葉や文の構成を工夫することができる。	・書写、書道（テーマを設けて書く）	聞く・話す：B1-1, 2, 3, 4, 5 書く：C1-1, 2, 3, 4, 5 読む：D1-1, 2, 3, 4, 5
			態 度		・相手のことを意識して表現しようすることができる。	・ブレ漢検（漢検模擬試験）	【第二段階】 知識・技能：A2-7, 15, 17
1 ・ 2 ・ 3	1年間のまとめ	2/4～ 3/24	五十 嵐 村瀬 後藤	技 能 識	・伝え合うことの大切さや様々な方法を再確認することができる。	・一年間の復習	【第一段階】 知識・技能：A1-2, 6, 7, 8, 9, 10, 14, 15
			思 判 表		・一年間でまとめたことを生かして、今の自分についてまとめ、思いを伝えることができる。	・学習したことを生かした表現（作文に限らない）	聞く・話す：B1-1, 2, 3, 4, 5 書く：C1-1, 2, 3, 4, 5 読む：D1-1, 2, 3, 4, 5
			態 度		・国語に関する自身の成長と課題を認識し、次年度の学習に対する意欲をもつことができる。		【第二段階】 知識・技能：A2-7, 15, 16
通 年	国語にかかわる基礎知識		五十 嵐 村瀬 後藤	技 能 識	・生活に必要な漢字や言葉、その調べ方を理解することができる。	・漢字の学習	【第一段階】 知識・技能：A1-4, 5, 11, 13
			思 判 表		・知り得た漢字や言葉を使って表現することができる。	・辞書の使い方	聞く・話す：B1-1 書く：C1-1 読む：D1-3, 4, 5
			態 度		・メモの取り方を工夫し、自ら学びを進めようすることができる。	・語彙の学習 ・メモの取り方	【第二段階】 知識・技能：A2-1, 11, 12

令和 6 年度

1 学年

国語科

シラバス

年間目標		・社会生活に必要な国語の基礎的な知識・技能を身に付けることができる。【知識・技能】 ・様々な形で伝え合う学習をとおして、より良いコミュニケーションの方法を工夫することができる。【思考・判断・表現】 ・言語活動をとおして言葉のもつよさや言語感覚を認識し、主体的に学びを進めることができる。【態度】		
	単元題材	目標		学習内容
4	オリエンテーション	知識・技能	・学習の見通しをもつことができる。	・プレテスト ・学習の見通し ・自己紹介や挨拶の仕方（教科書P100）
		思考力・判断力・表現力等	・適切な挨拶の仕方を工夫することができる。	
		学びに向かう力、人間性	・国語の学習に対する意欲をもつことができる。	
5 ・ 6 ・ 7	コミュニケーションのいろいろ	知識・技能	・伝え合うことの大切さや様々な方法を理解することができる。	・原稿用紙の使い方と作文の基礎、作文（体育祭の振り返り） ・読む・書く・聞く・話すことの基礎（プレテストの結果を受けて学習集団の実態に応じた基礎的内容を学習） ・場に応じた挨拶。 ・受け答えの仕方。 ・一学期の復習、理解度チェック
		思考力・判断力・表現力等	・思いを伝えるための方法を工夫することができる。	
		学びに向かう力、人間性	・伝えることや伝わることの喜びを味わい、自ら活動することができる。	
8 ・ 9	敬語の使い方	知識・技能	・日常で活用する敬語、言葉遣いについて理解することができる。	・丁寧な言葉遣い（敬語の基礎） ・インタビューの仕方（社会見学に向けて、教科書p42）
		思考力・判断力・表現力等	・状況に応じた話し方で表現することができる。	
		学びに向かう力、人間性	・相手と自分の関係性を理解して、適切な表現にしようとするすることができる。	
10 ・ 11	文章や資料の読み取り	知識・技能	・文章の構成や大まかな内容を理解して読むことができる。	・文章題 ・説明書から必要な情報を読み取ろう ・2学期の復習、理解度チェック
		思考力・判断力・表現力等	・文章から必要な情報を選択し、自分の方法で表現することができる。	
		学びに向かう力、人間性	・文章を読むことに自ら取り組み、情報を適切に入手しようとする態度を養うことができる。	
12 ・ 1	要点をまとめて書く・話す	知識・技能	・要点の絞り方や、より伝わりやすい表現方法を理解することができる。	・作文（学校祭の振り返り） ・書写、書道（テーマを設けて書く） ・プレ漢検（漢検模擬試験）
		思考力・判断力・表現力等	・自分の意見や気持ちが伝わるように、言葉や文の構成を工夫することができる。	
		学びに向かう力、人間性	・相手のことを意識して表現しようとするすることができる。	
1 ・ 2 ・ 3	1年間のまとめ	知識・技能	・伝え合うことの大切さや様々な方法を再確認することができる。	・一年間の復習 ・学習したことを生かした表現（作文に限らない）
		思考力・判断力・表現力等	・一年間でまとめたことを生かして、今の自分についてまとめ、思いを伝えることができる。	
		学びに向かう力、人間性	・国語に関する自身の成長と課題を認識し、次年度の学習に対する意欲をもつことができる。	
通 年	国語にかかわる基礎知識	知識・技能	・生活に必要な漢字や言葉、その調べ方を理解することができる。	・漢字の学習 ・辞書の使い方 ・語彙の学習 ・メモの取り方
		思考力・判断力・表現力等	・知り得た漢字や言葉を使って表現することができる。	
		学びに向かう力、人間性	・メモの取り方を工夫し、自ら学びを進めようとするすることができる。	